

ならしの市議会

平成23年(2011)8月1日 第151号

脱原発・自然エネルギーの 推進意見書を全会一致で可決



太陽光パネルで電力を教室へ！(第三中学校：平成22年9月竣工)

市議会議員選挙後、初めての平成23年第1回臨時議会が5月16日から20日まで5日間の会期で開催され、議長・副議長・各常任委員等が選出されました(最終ページ「議会の人事」参照)。議案7件が審議され、すべての議案が承認・同意されました。

平成23年第2回定例会が、6月2日から6月29日まで28日間の会期で開催され、議案10件が審議され、すべての議案が可決・同意されました。

また、請願・陳情については6件が、議員提出の発議案については2件がそれぞれ審議されました。

一般質問は24人の議員が行い、市政に関する諸問題について活発な議論が展開されました。

平成23年第1回臨時議会

承認・同意された
主な議案概要

議案第19号 ないし第22号 専決処分した事件の承認を求めることについて

内容 本案4件は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災した、国道14号線以南の埋立地区を中心として道路や下水道のライフラインや各公共施設等の災害復旧に要する経費について、専決処分したので、承認を求めます。

問 震災からの復旧事業について財源確保・復旧時期・放射能に対する対応等どのような態勢で取り組んでいくのか。

答 市民の安全・安心な生活をいち早く取り戻すという考えのもとで職員一人丸となって取り組んでいきたい。

平成23年第2回定例会

可決・同意された
主な議案概要

議案第26号 習志野市一般会計補正予算(第2号)

内容 本案は、歳入歳出予

算の総額を520億2千703万2千円、地方債の補正は、市債総額を57億4千460万円にしようとするものです。補正の内容は、各公共施設の災害復旧に係る経費を計上するとともに、被災者の方に対する見舞金の支給に係る経費についても予算計上しようとするものです。

問 震災により財政的厳しさが増している中、被災地区では救済を求める市民がたたくさんいる。なぜこの時期に庁舎建設の準備に入らなければならないのか。

答 老朽化によりIs値0.3と極めて危険な状態であり、いつまでもこのままだというわけにはいかない。財源の少ない中でどのように工夫すれば建設が可能になるのか考えていかなければならない。

議案第27号 習志野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 本案は、特別職の職員等の給料及び期末手当の支給について、市長30%、副市長20%、教育長、企業管理者15%を減

額するものです。適用期間は平成23年7月1日(現市長の任期中)。

問 市長給与の30%削減は市長の選挙公約であり、即座に対応したことは評価できるが議員の報酬及び職員の給与等についてはどのように考えているのか。

答 議員の報酬については議員が判断すべき、職員については時間外手当の縮減、勤務体制の見直しで人件費総額を削減していきたい。

議案第28号 習志野市災害見舞基金条例の一部を改正する条例の制定について

内容 本案は、火災、豪雨又は洪水に加え、東日本大震災により被害を受けた市民の方に対する災害見舞金の支給についても、習志野市災害見舞基金を活用することができるよう、改正するものです。

問 国が行う被災者生活再建支援について、本市は国に対し、増額等の要求をしているのか。

答 近隣16市の市長と共同で、既に要望を申し入れている。

議案第30号 習志野市教育機関設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 本案は、市立図書館のうち、大久保図書館を除く4図書館(東習志野、新習志野、藤崎及び谷津図書館)の管理運営に指定管理者制度を導入することに伴い、開館時間、休館日等の管理の基準及び指定管理者が行う業務

の範囲を定めるため、改正するものです。

問 指定管理者制度を導入した自治体の実績や評価をどのように把握しているのか。また、指定管理者制度のデメリットについて何う。

答 主な評価として、図書館利用者、貸出冊数ともに増加し、自主事業による読書普及活動に積極的な展開が見られ、職員体制も充実したとコメントがあげられている。デメリットについては、サービスを重視し教育面がよろそかになっている部分もある。

議案第32号 副市長の選任につき同意を求めることについて

内容 本案は、副市長である島田行信氏を引き続き選任することに同意を求めます。

問 引き続き現副市長を選任する理由について伺いたい。

答 これまでの実績をしっかりと勘案した中で提案させていただいた。

議案第35号 指定管理者の指定について(習志野市芝園テニスコート・フットサル場)

内容 本案は、(財)習志野市スポーツ振興協会を平成23年10月1日から平成26年3月31日までの2年6月間指定管理者として指定するものです。

問 指定管理者候補者選定委員会は外部委員がないことだが、外部有識者等を今後入れる予定はあるのか。

答 当面は現状のまま進め

ていきたいと考えている。

可決された意見書・決議

発議案第1号 公共施設調査特別委員会の設置について

内容 本市議会は、公共施設の老朽化に伴う建てかえを含めた施設のあり方を調査・検討するため、公共施設調査特別委員会を設置するものです。

発議案第2号 自然エネルギーの本格的導入を推進し、原子力発電からの撤退を求める意見書について

内容 本市議会は、政府に対し、自然エネルギーの本格的導入を推進し、原子力発電に依存したエネルギー政策の転換を図り、原子力発電から撤退していくことを強く求めるものです。

採択(送付)された陳情

受理番号第4号 習志野市放課後児童健全育成事業に関する陳情

内容 文教住宅都市憲章に基づき行政が責任をもって児童保育の公設公営を堅持していただきますよう求めるものです。

問 国には児童保育の基準がないが、本市ではどういう基準で行っているのか。また、今後行政として責任をもってこの公設公営の堅持をしていくのか。

答 国のガイドラインで実施している。児童40人に対して3名の指導員、児童1人当たり1・65㎡はクリアしている。また、

学校の敷地内にあることが一番児童の安全・安心が保たれる。今後も公設公営に努めてまいりたい。

委員会の審査概要

6月20日及び21日に各常任委員会が、22日に一般会計予算特別委員会が開催されました。

付託された議案、陳情の審査結果は次のとおりです。

総務常任委員会

付託された議案4件、陳情1件の審査を行い、議案第27号ないし第29号【全員賛成、可決】議案第32号【賛成多数、同意】受理番号第9号【賛成少数、不採択】のとおり決しました。

建設常任委員会

付託された陳情2件の審査を行い、受理番号第7号【賛成多数、継続審査】受理番号第8号【賛成少数、不採択】のとおり決しました。

文教福祉常任委員会

付託された議案5件、陳情3件の審査を行い、議案第30号【賛成多数、可決】議案第31号及び第33号ないし第35号【全員賛成、可決】受理番号第3号及び第5号【可否同数(委員長裁決)不採択】受理番号第4号【賛成多数、採択送付】のとおり決しました。

一般会計予算特別委員会

付託された議案1件について、議案第26号【全員賛成、可決】のとおり決しました。

●平成23年第3回定例会は、9月2日(金)開会予定です。 ●次回の「ならしの市議会」は、平成23年11月1日(火)に発行予定です。

公明党

防災に強い安全で安心なまちづくりを目指す！

Q(仮称)発達相談センター開設に向けた今後の取り組みについて

A①具体的な支援プログラムの検討②総合教育センター等との連携の仕組みづくり③「個別支援計画」の作成・運用体制の充実

④配置する専門職の確保

Q特別支援教育の充実

A「個別指導計画」の有効活用と指導力を持った教員の配置に努める。

Q平成24年4月に向けた組織機構の見直しについて

A保健福祉部の体制見直し等、行政の効率化や新たな行政課題への対応を踏まえ、全職員の能力が発揮できる体制に取り組む。

Q市長の政治姿勢を伺う

A環境施策が目される中で、市営ガス事業の充実、再生可能エネルギーの活用やスマートグリッドなどの技術を研究し、エコシティーを目指す。生産年齢人口の増加を図っていく施策を推進。

Q今後の災害対策を伺う

A防災行政無線について、戸別受信機の拡充や地域防災計画の見直し、ハザードマップの作成。液化化対策では、「(仮称)習志野市被災住宅地公民協働型復興検討会議」を7月に設置し検討する。

Q液化化対策に「復興特区制度」等の積極的な導入を求める

A復興会議で検討する。

Q水門整備について

A県と市の協議の場を早

急に設ける。

Q企業局のガスタンクの耐震性について

A震度7を想定。防災公園を市内の高台に数カ所配置することを要望！

「危機管理局」の創設を強く要望！

Q企業局の耐震性は？

A耐震工事を検討する。

Q大久保駅周辺の整備計画について

A早急に協議会を持つ。

Q屋敷・花咲地域における給水所の設置について

A家庭内井戸の調査も含め検討していく。

Q地域防災計画の今後の見直しについて

A自助・共助による防災計画を推進していく。

Q救急医療情報キット事業の今後の普及について

A消防訓練等あらゆる機会に説明していく。

Qハミングロード再生計画の今後について

A雨水対策も含め安全で快適な歩行空間を実現。

Q放射線量に対する本市の取り組みについて

A放射線等対策委員会を設置し測定器も購入する。

新社会党

「コミュニティバス実効ルート」の復活を！

Q大震災の被害状況は

A5月11日現在、死亡1名、負傷6名、家屋全壊9棟、大規模半壊148棟、半壊442棟、一部損壊3千651棟、火災1棟、下水道不能1千500棟。

Q被害の復旧費用は

Aこれまで一般会計と下水道会計とで23億1千万円の補正予算を執行中である。今後、概算でも74億円が必要である。

習志野市の不正選挙はまだ、つづいている

Q(1)これまで開票事務で不正行為を行い千葉地検に告発された職員が一人担当の「点字読み取り係」に起用され、仕事は4票の読み取りだけとは？

A答えられない人がいない。千葉地検審査会は、疑われないことが絶対あつてはならないと厳しく指摘したが疑惑は残る。不正行為は大きな犯罪である。

Q今年3月31日に退職した部長等6人が、翌日の4月1日に谷津バラ園に天下りした。天下り職員の給与は週3日勤務で月額15万円、期末手当は37万円、地域手当は月額1万3千円で、年収は240万円である。

この天下りによって、シルバー人材の6人の賃金は、これまでの5万3千円が、3万1千円に、年収63万円から、38万円に減額された。この天下りは、過去の天下りで最悪である。

Q市長は、「撤回しない」という答弁であった。

QJRの強制執行その後、JR津田沼駅南口開発は、

前市長後援会に私物化されている。79歳の老母と娘の住む家の玄関のドアを電動ノコギリで破壊し、立ち退きを強制した。

その後の土地区画整理法による協議は、どうなっているのか。

A組合から報告はまだない。

Q巨大地震対策

A復旧・復興を最優先にと説明しながら、現実には浦安市や船橋市の被災者支援対策より遅れている。新庁舎建設より、被災者支援を最優先にすべきだ。庁舎も検討する。

Q災害の復旧・復興から元気づけ習志野を再生！

A夜中の災害対応の地区対策本部(自主防災組織含む)、復旧対応の優先順位、情報伝達のあり方等は、今後見直す。

Q新市長の行政運営は？

Aタウンミーティング等に市長自ら直接出向き市民の意見を聞く。職員の能力向上の先進地研修は次年度にシステム化する。

Q今後の環境対策は？

Aごみの分別収集は、今年度一般廃棄物処理基本計画を見直し、実行可能を具体的に明記する。地球温暖化対策推進計画を来年度に変更するため、今年度から着手する。

Q水の配布について安全

A南消防署わきと谷津小の耐震性井戸付貯水槽から汲み上げ、自衛隊・

市民の声を聞く会

企業局の車両にて運搬配布は、三中・阿武松部屋・消防団が協力してくれた。安全性は、年一回の検査と直前の水質検査で安全確認をした。

Q被災当日、市内情報が正確に伝わらなかった原因は説明したか

A固定電話が通じず、IP電話や移動系携帯型無線機を使用したのが、報告時間や様式等を定めていなかったため情報の錯誤がみられた。

Q高齢者の方などに對する新たな公共交通システムへの取り組みは

Aデマンド交通システム等の調査研究を福祉的な視点も含め検討中。

Q大災害発生時に浮上した問題点に今後どう対応するの

A自助・共助に対する市民意識の高揚に今後さらに努める。

Q協働型社会の推進は

A市民と行政が対等な関係の中で協力協働し相互理解を深める。

Q総合型地域スポーツクラブの推進は

A設立されていない地域解消に向けて検討中。

Q定年になった部長クラス6名が谷津バラ園に再任用された。市民の感情はよろしくない。実態を聞く

A再任用は地方公務員法第28条の4に基づくもの。「公益収納は市職員で」との監査の指摘を受け配置した6名の退職金は、平均3千41万円。現在、週3日勤務、月額17万円である。シルバー人材の就労機会を奪ったことで市民からご批判があり、指定管理者

制度への移行を考えている。ただちに6名の配置見直しと再任用者専門部署(滞納徴収部、用地買収部等)の創設を求める。

Q災害対策の見直しで、市民アンケートの計画は

A年内のなるべく早い時期に実施したい。

Q災害時の避難所運営について、市と学校現場との協力体制は

A今後は、学校と地域と連携をとり、訓練を行う。

Q公営の自然エネルギー活用の取り組みは

A太陽光発電など、積極的に推進していく予定。

Qスマートグリッドなど再生可能なエネルギーを活用した環境都市計画は

A環境に配慮したまちづくりにおける主要テーマの一つとし調査研究をすべきと考えている。



市の花「あじさい」市役所内に

ならしの市民の会

東日本大震災にかかわる復旧の取り組みについて

Q財政問題について

A災害にかかわる復旧・復興事業費は、約74億円になると試算している。財源確保として既存事業の見直し・検証、民間活力の導入・連携による経費の節減、行政機構の統廃合、時間外勤務手当の抑制、当初予算事業の見送り、公共施設の統廃合、未利用地の売却を含めた資産の有効活用などを考えている。

Q防災について

A職員の初動体制について問題点を検証し、関係機関との協議や研修、地域防災計画の見直しなどを行い、早期確立に努めていく。

日本共産党

保育所の職員配置市独自基準を維持

Q子ども子育て新システムで保育所最低基準を廃止する動きがあるが、市長の見解は？

A最低基準の見直しには慎重であるべき。

Q保育所の職員配置の市独自基準は守るべき

A健全な保育所運営を行う上で必要なものなので、市独自基準を維持する。

Q藤崎小学校の学童保育のパンク対策について

A学校敷地内で児童会の新設も検討していきたい。

Q今年度中に補正予算を組んで、新設の設計作業に入ってもらいたい。

Q衛生処理場・浄化センター跡の京成電鉄分譲地の液化化被害について

A京成電鉄に誠意をもって住民に対応してもらいたいという申し入れをする。ことは可能である。

Q谷津バラ園管理の委託内容の変更について

A早い段階から調整すべきであり、シルバー会員に不安を与えてしまった。

Qハッピーバス実効ルートが廃止されたが、東習志野では高齢者が多い。復活を要望するが？

A高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段として検討を進めていく。

Q具体的な動きは？

A平成24年度予算で一定の方向を示したい。

みんなの党

みんなの党初陣！

Q防災計画の検証と津波対策、国道14号線以南の避難場所の見直し、防災無線の更新が必要と思うが！

A津波対策や避難場所等、防災計画を全般修正する。防災無線は音響を調査し更新していく。

Q谷津干潟のアオサによる腐敗臭対策を求める！

A環境省と協議し除去作業を実施させる。

Qドッグランの設置を！

A調査・研究していく。

Q特別職の退職金削減！

A市長のみ3割削減する。特別職全員の7割削減を4年後までに再考を！

Q職員の手摺徹底を！

A教育指導を徹底する。

Q市長は議員定数・報酬



を削減する意思があるか
A 議員定数と報酬の削減は議会が検討して決定する事項である。

Q JR津田沼駅北口の環境美化向上への取り組み
A ポイ捨て防止の啓発活動強化とごみ箱容量の拡大を実施し、早朝時間帯のごみ回収を検討する。

Q ハッピーバス内陸ルート
A 通勤時間帯の運行ダイヤは次回のダイヤ改正時にバス事業者と協議。バス停移動と料金値下げは現時点では困難である。

Q 市のIT資産最適化
A 現在はクラウドコンピューティングを検討し、まずは市が所有する現状のIT資産の把握を行うことについて

Q 市民からのアンケート
A 市民からのアンケートを取り、今後に活かす。

Q 東部体育館の早期利用再開について
A 現在、修復中だが新たな被害が見つかり時間を要するが、一日も早い再開を目指す。

真政会

新しい市政運営と震災対応について

Q 市長の政治姿勢
A 現庁舎の耐震指数は極めて低く、新庁舎建設は急務。公民連携で、民間活力を利用する。市長給与3割削減など、人件費

削減に取り組む。
Q 大震災の復旧・復興
A 今後も都市基盤の復旧最優先。防災計画の見直しにも着手する。

Q 大久保地区パートナーシップ施設について
A 市長の政策理念とも合致し、世代間交流の中核施設として推進する。

Q 地域問題について
A 危険交差点の対応、中央公園等の有効利用について継続して協議をする。

習志野クラブ

復旧・復興を最優先!! 輝け子供の未来!!

Q 今までのツケを背負って
A 小児科医を確保できていないのは、毎週火・木曜日小児二次救急医療を担う医療機関は、一カ所月曜日のみ。県が実施している小児救急電話相談を市民に周知し、小児科医の確保を粘り強く、国・県へ要望していく。

Q 認知症の予防や進行を遅らせる取り組みは?
A 今後も、第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定時において、総合的な支援策を検討していく。

Q 残業代の削減をすべき
A 年間4億円強の残業代が発生。勤務体制の見直しや、業務分担の見直しを進め、時間外勤務の削減に努める。

Q 時給に換算すると平均1人当たり幾らか
A 時給2千440円。なお、係長以下の管理職でない

者に支給される。
↓シフト制勤務を導入し数値目標を掲げ削減を。
Q 学校の耐震化を急げ
A 平成28年までに、耐震化を終る計画だが、前倒しを検討する。

Q 災害時相互応援協定を
A 遠方の自治体と避難や物資提供で協定を検討。
Q 今回の地震を踏まえた
A 市民の意見要望を収集し地域防災計画の見直しを行う。

Q 固定資産税額の見込み
A 平成23年度は、固定資産税、都市計画税で2億3千600万円の減収見込み。経営改革プランに基づき、行財政改革を実施し財源確保に努める。

Q 特養老人ホームの現状
A 特養老人ホーム待機者51名。今後は、施設整備と在宅支援の両面から整備を進める。

Q あたご橋の手すりの高さの危険性について
A 安全対策を検証する。

Q 浜田川の源流の魚住池の観光名所登録について
A 貴重な財産を適切に維持管理し保全する。

Q 保育ママ制度の新規導入について
A さまざまな角度から検証したいと考えている。

Q 大久保中央公園へのドッグラン設置について
A 近隣との問題もあり設置できない。
↓ペット専門の市民相談窓口新設を要望。
Q 放射能測定器について
A 現在は必要性がない。
↓授業に取り込みを要望。

議会の日程

平成23年 第1回臨時会

月日	内容
5月16日(月)	開会 議長・副議長の選挙 常任委員・議会運営委員の選任 議案第19号~議案第24号について(提案理由の説明~採決)
5月20日(金)	習志野市農業委員会委員の推薦の件 千葉県親馬組合議会議員の選挙 四市複合事務組合議会議員の選挙 習志野市消防委員会委員の推薦の件 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 議案第25号について(提案理由の説明~採決) 閉会

平成23年 第2回定例会

月日	内容
6月2日(木)	開会 議案第26号~議案第35号について(提案理由の説明)
6月9日(木)	議案第26号~議案第35号について(議案質疑)
6月10日(金)	一般質問(4人)
6月13日(月)	一般質問(4人)
6月14日(火)	一般質問(4人)
6月15日(水)	一般質問(4人)
6月16日(木)	一般質問(4人)
6月17日(金)	一般質問(4人)
6月20日(月)	建設常任委員会 総務常任委員会
6月21日(火)	環境経済常任委員会 文教福祉常任委員会
6月22日(水)	一般会計予算特別委員会
6月29日(水)	議案第26号~議案第35号並びに受理番号第3号~受理番号第5号、第8号及び第9号について(委員長報告~採決) 受理番号第7号(閉会中継続審査の件) 発議案第1号~発議案第2号について(提案理由の説明~採決) 閉会

《平成23年第1回臨時会議決結果一覧表》

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 (枠内の○×は、会派内での○×の人数)

議案番号	議案	議決結果	会派								
			元気な習志野をつくる会	公明党	真政会	習志野クラブ	みんなの党	市民の声を聞く会	日本共産党	新社会党	ならしの志士の会
19	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成22年度習志野市一般会計補正予算(第6号))	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
20	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成22年度習志野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
21	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成23年度習志野市一般会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
22	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成23年度習志野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
23	専決処分した事件の承認を求めることについて(習志野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
24	専決処分した事件の承認を求めることについて(習志野市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○2欠1	○	○	○
25	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○3除斥1	○	○2×1	○	○	○	○

《平成23年第2回定例会議決結果一覧表》

議案番号	議案	議決結果	会派								
			元気な習志野をつくる会	公明党	真政会	習志野クラブ	みんなの党	市民の声を聞く会	日本共産党	新社会党	ならしの志士の会
26	平成23年度習志野市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	習志野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	習志野市災害見舞基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	習志野市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	習志野市教育機関設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○1×2	×	×	○
31	習志野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	副市長の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	×	○1×1退1	○	○	○
33	工事請負契約の締結について(津田沼小学校全面改築工事(校舎・体育館建築工事))	可決	○	○	○	○	○	○1×1退1	○	○	○
34	工事請負契約の締結について(津田沼小学校全面改築工事(校舎・体育館電気設備工事))	可決	○	○	○	○	○	○2×1	○	○	○
35	指定管理者の指定について(習志野市芝園テニスコート・フットサル場)	可決	○	○	○	○	○	○2×1	○	×	○
受理番号	請願・陳情	議決結果	元気な習志野をつくる会	公明党	真政会	習志野クラブ	みんなの党	市民の声を聞く会	日本共産党	新社会党	ならしの志士の会
3	大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情	不採択	×	×	×	○	○	○	○	○	×
4	習志野市放課後児童健全育成事業に関する陳情	採択送付	○	×	×	○	○	○	○	○	×
5	習志野市放課後児童健全育成事業に関する陳情	不採択	×	×	×	○	×	○	○	○	○
7	仲よし幼稚園跡地活用方針について…虚偽の回答でミスリード	不採択	×	×	×	×	○2×1	○	○	○	○
8	悲惨な強制執行の実態解明を	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	×
9	「ボートピア習志野」の実態検証を要求する	不採択	×	×	×	×	○1×2	○	○	○	×
議案番号	発議案	議決結果	元気な習志野をつくる会	公明党	真政会	習志野クラブ	みんなの党	市民の声を聞く会	日本共産党	新社会党	ならしの志士の会
1	公共施設調査特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	自然エネルギーの本格的導入を推進し、原子力発電からの撤退を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

おめでとう! 議長賞贈呈

市立習志野高等学校吹奏楽部が第34回全日本アンサンブルコンテスト高校の部金管八重奏において金賞を受賞しました。市議会では、その栄誉をたたえ、6月29日議場にて議長表彰を行いました。

議会の人事



議長(第26代)
関桂次

副議長(第30代)
木村孝浩

総務常任委員会(8人)



齊藤賢治 委員長



田中真太郎 副委員長



帯包文雄 委員



木村孝浩 委員



高橋剛弘 委員



立崎誠一 委員



谷岡隆 委員



中山恭順 委員

建設常任委員会(7人)



伊藤寛 委員長



清水大輔 副委員長



佐々木秀一 委員



佐野正人 委員



清水晴一 委員



杉山和春 委員



平川博文 委員

環境経済常任委員会(7人)



小川利枝子 委員長



央重則 副委員長



相原和幸 委員



市角雄幸 委員



市瀬健治 委員



宮内一夫 委員



宮本博之 委員

文教福祉常任委員会(7人)



真船和子 委員長



長田弘一 副委員長



荒木和幸 委員



市川寿子 委員



木村静子 委員



木村孝 委員



布施孝一 委員

議会運営委員会(7人)

委員長 小川文雄
副委員長 川利枝子
委員 市角雄幸
委員 木村静子
委員 斎藤賢治
委員 佐野正人
委員 中央重則

各種審議会委員

習志野市監査委員 宮本博之

習志野市農業委員会 相原和幸

習志野市農業者組合 木村静子

千葉県競馬組合議会 木村孝

四市複合事務組合議会 高橋剛弘

千葉県後期高齢者医療 田中真太郎

広域連合議会 帯包文雄

習志野市消防委員会 宮本博之

習志野市都市計画審議会 佐野正人

習志野市都市計画審議会 清水晴一

習志野市地区計画建築 谷田中山

習志野市地区計画建築 杉山和春

習志野市地区計画建築 伊藤寛

習志野市国民健康保険 市瀬健治

習志野市中小企業資金 小川利枝子

融資運営委員会 清水晴一

習志野市市有財産調査 佐野正人

委員会 清水大輔

習志野市交通安全推進 荒木和幸

審議会 平川博文

習志野市青少年問題協議会 木村静子

習志野市風俗営業等審議会 中山恭順

習志野市旅館業審議会 伊藤寛

習志野市環境審議会 市瀬健治

習志野市民生委員推薦会 宮内一夫

習志野市住居表示審議会 谷岡隆

習志野市自転車等放置 防止対策協議会 伊藤寛

習志野市通学区域審議会 立崎誠一

習志野市スポーツ振興 審議会 市角雄幸

習志野市長期計画審議会 伊藤寛

習志野市長期計画審議会 小川利枝子

習志野市長期計画審議会 斎藤賢治

習志野市長期計画審議会 関桂次

習志野市長期計画審議会 真船和子

皆様、こんにちは。ご存知のとおり、この春、20年ぶりに市長が変わり、習志野市議会も12名が新人議員と新たなスタートとなりました。この議会も今までの以上に皆様と親しまれる、そして読みやすい議会を目指して、心機一転でまい進してまいります。これからもよろしくお話し申し上げます。議会報編集委員会

発行 習志野市議会
編集 議会報編集委員会
住所 習志野市鷺沼1丁目1番1号
電話 047(453)9232
FAX 047(453)7767
http://www.city.narashino.chiba.jp/shigikai/

- 元氣な習志野をつくる会 ○ 市瀬健治
- 公明党 ○ 宮内一夫
- 真政会 ○ 谷岡隆
- 習志野クラブ ○ 伊藤寛
- みんなの党 ○ 立崎誠一
- 市民の声を聞く会 ○ 市角雄幸
- 日本共産党 ○ 伊藤寛
- 新社会党 ○ 小川利枝子
- ならしの志民の会 ○ 伊藤寛